

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

401

今福霊園整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	3	生活衛生対策の推進
取組方針	4	斎場、今福霊園の適切な改修、整備

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		墓地費	
	大事業		墓地事業	
	中事業		今福霊園整備事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	
事業実施の根拠法令	和歌山市営墓地条例及び同条例施行規則		関連課	担当課・担当課長・Tel 保険総務課 山本 聖也 435-1069

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	今福霊園の整備を行い、墓地参拝者や周辺住民の理解と協力が得られる周辺環境と調和した墓地になることを目的とする。		区画整備工事、老朽化した擁壁の改修、植栽、駐車場の整備等を実施する。また墓地、埋葬等に関する法律施行規則に基づき、無縁墳墓の整備を行う。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		52件の無縁墳墓、返還地の改葬を行う。また、墓地内の排水整備工事を行う。 37区画の新規区画貸出を実施。	100件の返還墳墓を改葬する。霊園内の排水整備工事、舗装の修繕を行う。 70区画の新規区画貸出を実施。	墓地の区画整備工事等の実施	墓地の区画整備工事等の実施	墓地の区画整備工事等の実施

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	20,813	13,445	19,060	14,279	15,058	13,392	23,183	0	23,183	0
伸び率(%)	△18.7%	11.6%	△8.4%	6.2%	△21%	△6.2%	54%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	6,359	6,041	6,062	5,903	5,915	5,835	8,232	0	8,232
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6,359	6,041	6,062	5,903	5,915	5,835	8,232	0	8,232
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	2,700	2,600	4,100	3,500	2,600	5,200	9,900	0	9,900	0
その他	0	0	0	0	10,210	9,728	9,436	0	9,436	0
一般財源(税等)	18,113	10,845	14,960	10,779	2,248	△1,536	3,847	0	3,847	0
所要人数(人)	正規職員	0.80	0.76	0.76	0.74	0.74	0.73	1.03	0.00	1.03
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	整備工事請負費 8,283千円 墓地移転補償金 3,715千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	墓地の貸出募集件数	件	目標値				70	70
			実績値			61		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
成果指標	墓地の新規貸出件数	件	目標値				70	70
			実績値	24	33	36		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
活動指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○ おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○ 一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○ 制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	墓地の新規区画の公募等の問い合わせや、利用者からの墓地内整備要望が多数あり、墓地整備事業を継続して実施していくことが必要である。
見直し・改善内容	近年の自然災害対策として、ブロック塀の改修等を実施していく。